



給食だより

鳥栖市教育委員会
令和3年 1月発行



あけましておめでとうございます。新年がはじまり、まだまだ寒い季節ですが、よく食べ、よく体を動かして、夜はしっかり休みましょう。健やかな体と心で新しい年も、元気に成長してほしいと願っています。

給食の歴史～全国学校給食週間～

学校給食の始まり(明治22年)

山形県の忠愛小学校でお弁当を持ってくることが出来ない子ども達のために「おにぎり・焼き魚・漬物」の昼食を出したことから始まりました。その後、少しずつ日本各地へ広がりました。

学校給食の再開(昭和21年12月24日)

第2次世界大戦で食料難になり、給食が一時中断されました。しかし戦争が終わり、食べるものがなくお腹をすかせた子ども達のために、外国から送られてきた脱脂粉乳や缶詰などで再び給食が始まりました。この日は、学校が休みになることもあるので、1ヶ月遅れの1月24日が「給食記念日」になりました。そして、24日から30日までの1週間で「全国学校給食週間」に定められました。



学校給食は食育の一環に(平成17年)

食育基本法が制定され、地場産物を取り入れたり、栄養バランスや自分にあった食べ物を選ぶためのお手本「生きた教材」として給食が提供されるようになりました。

～鳥栖市中学校のお弁当給食～



学校給食の始まりである「おにぎり・焼き魚・漬物」を参考にしたお弁当給食メニューです。感謝の気持ちを持って給食をいただきましょう。



佐賀県の郷土料理である『がめ煮』や『かけあえ』をメニューに取り入れました。また、『味のり』や『うんしゅうみかん』は佐賀県産のものを使用しています。

1月25日 給食記念日

1月27日 佐賀県の料理

～感謝の気持ちを持って食事しよう～

食事をする際「いただきます」「ごちそうさま」をきちんと言っていますか？「いただきます」という言葉は、自然の恵みや生き物の命をいただくということからきています。私たちが食べ物としているものは、植物も動物もみんなもともと生きていたものです。私たちは、生きるためにたくさんの命をいただいているのです。「ごちそうさま」の「ちそう(馳走)」は、走り回るとい意味です。『私のために、食材を育てたり、集めたり、料理をしたり、走り回ってくれてありがとうございました。』という感謝の気持ちを込めた言葉です。せっかくだいた大切な命や たくさんの人たちの苦勞をむだにしないよう、残さず食べることを心がけましょう。



今月は3月分の申込みです♪



3年生最後の給食は鶏肉のレモン煮が登場します。お楽しみに♪♪



今年もよろしく
お願いします。

